

2019年2月21日
住友商事九州株式会社
社長 前田恒明

「アジア太平洋カレッジ」インターンシップの実施報告

2月21日（木）九州大学韓国研究センター主催の「アジア太平洋カレッジ」のプログラムに協力、福岡本社にてインターンシップを受入れましたので報告します。

「アジア太平洋カレッジ」は、九州大学・ハワイ大学・ソウル大学校・釜山大学校がハブとなり、日米韓6大学の独自の教育リソースを活用して構築した「国際体験型」協同教育プログラムで、幅広い視野と問題解決力を持った次世代のグローバルリーダー育成を目的として、実施されているものです。

当社のインターンシップ受入れは、「福岡・釜山フォーラム」を契機として開始、前身の「日韓海峡圏カレッジ」（2011年～2013年）を含め、今年の開催が8回目となります。今年、九州大学・高麗大学校の学生（1・2年生）14名を受入れました。

本プログラムを通して、次世代を担う学生が「心の交流」の大切さを実感、相互理解を深めることで、日韓両国ひいては東アジア地域の懸け橋となってくれることを祈念すると共に、今後も九州地域ひいては将来の日本にとって活力を生む取組みに貢献して参りたいと思っています。

